ムグンファ

国際クラブ通信

2026年11月10日（火）

NO.14

練習の成果を発揮した国際クラブ発表会！



10月23日（木）に国際クラブ（民族学級）発表会を行いました。今年度は、司会や舞台発表者などを含め、のべ73人が参加しました。そのうち韓国・朝鮮にルーツを持つ生徒は約50%で、多くの生徒がそれぞれの役割を担いながら発表会を支えてくれました。

今年度は初めてテコンドーの発表に挑戦し、力強い演技で会場を魅了しました。また、中国語クラブの発表では昨年に引き続きクイズを取り入れ、みんなで参加しながら楽しく学べる時間となりました。その他の発表においても、日頃の練習の成果が十分に発揮され、一人ひとりの努力や成長が感じられる素晴らしい内容となりました。

発表会を通して、言葉や音楽、演技を通じてそれぞれの文化の魅力を発信するとともに、異なる文化への理解を深める貴重な機会となりました。また、一人ひとりが主体的に活動に取り組み、それぞれの役割を果たそうとする姿が強く印象に残りました。今回の発表会をきっかけに国際クラブの活動に関心をもつ生徒が増え、来年度はさらに多くの仲間とともに学びや交流の輪を広げていけることを期待しています。

国際クラブ　活動連絡

11月10日（火）　2:10～3:00

民族学級　　1年生、2年生　：　多目的室

≪ 国際クラブ（民族学級）発表会生徒感想文からの抜粋 ≫

発表会後に書いてもらった感想文には、たくさんの心温まる感想が書かれていました。発表会を見た生徒も参加した生徒も、それぞれの立場から感じたことを率直に書いてくれています。国や文化への理解を深めるとともに、仲間と協力して一つのものを創り上げる喜びや、挑戦することの大切さを感じた生徒も多くいました。その一部を紹介します。

・このような発表会のある学校に来れてよかった。
・韓国や中国についてよく知れたし、魅力もよく伝わってきた。
・どの演目もすごかったし、格好良かった。そして、感動した。
・最初は活動に参加していたけど、途中で行かなくなってしまったので来年こそは頑張ろうと思った。
・中国語クラブのクイズが楽しかった。中国のことが知れてよかった。
・みんなそれぞれが頑張ってきたからよい作品になったんだと思った。とても格好良かったし、素敵だった。
・ルーツにはいろいろな良さがあるなと思ったし、その良さをいろんな人に知ってもらえればいいと思った。
・テコンドーは板割りが格好良かった。失敗しても成功するまで何回も挑戦する姿勢が良かった。
・みんなで心を一つにしてプンムルを演奏するのは楽しそうだと思った。自分にも民族のルーツがあればよかったのにと思うと悔しい。来年以降もみんなの姿を見守っていきたい。
・途中で辞めたいと思ったけど、発表会まではと思ってやりきれてよかった。
・韓国語や英語をスラスラ読めていて、すごいと思った。聞きやすかった。
・いつもと違う友達の姿を見れてよかった。
・休まずに頑張って練習してきたので、素晴らしいプンムルにすることができたと思う。本当に頑張ってきてよかったと思える発表会にできた。いい思い出ができた。
・OT の時間を通して、いろいろな人と交流できてよかった。
・全学年が一体となって大きな拍手を送っていて、いいなと思った。
・来年は何かに参加してみようかなと思った。
・プンムルに使われている楽器それぞれに意味があるというのを知ったら、今までと見方が変わった。
・みんなと練習できて、楽しかった。
・国際理解ダンスをして楽しかった。緊張をしたけど、参加してよかったと思った。
・練習を積み重ねて、けっこうできるようになったのがとてもうれしい。
・民族のルーツがないので、民族学級に参加することができないけど、毎年思うのが「プンムルに参加したい」ということ。自分もみんなのように全員で韓国・朝鮮の伝統楽器を奏でて1つの作品をつくり上げたい。
・国際クラブ発表会をみるのも最後となり、とても悲しい。練習では大変な思いもしたが、ちゃんと成功し、やり遂げることができた。後輩にも頑張っていってもらいたいと思う。
・発表会に初めて参加し、自分が今まで見てきた舞台に出れたことが何よりもうれしかった。
・1回1回の練習を大切にして、舞台では全力を出し切り楽しむことができた。
・3年間発表会を見れて、友達や他の学年の子の格好良い姿を見れて楽しかった。